

**サニックスワールドラグビークラス交流大会 2022
予選会**

大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン

サニックスワールドラグビークラス交流大会

大会事務局

目次

参加チームに求められる対応	．．．	2
大会準備に関する対応	．．．	4
大会運営スタッフの対応	．．．	6
メディア対応	．．．	9
観戦来場者対応	．．．	10
感染ならびにその疑いがある場合の対応	．．．	11
大会中止の検討基準	．．．	12
別紙資料	．．．	12

参加チームに求められる対応

【事前準備の留意事項】

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。各チームにて参加者への周知徹底をお願いします。

(1) 登録選手・登録チームスタッフ・サポートメンバーのリストを提出すること。これ以外の者はチームとの同行を認めない。

(2) 大会 14 日前より健康状態の記録を行い、以下に記載の項目を含め、新型コロナウイルス感染症の兆候が一切見られないこと。

参加者各個人は「健康チェックカード(個人用)」に記入し、健康状態を管理しチーム代表者に報告すること。チーム代表者は参加者個人の健康状態を把握すること。

①新型コロナウイルス感染症に関係するいかなる症状も直前の 14 日以内に見られないこと。

ア 37度5分を超える発熱

イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる・疲れやすい等

②生活を共にする家族等にも新型コロナウイルス感染症に関するいかなる症状も直前の 14 日以内に見られないこと。

③新型コロナウイルス感染者や感染が疑われる人に直前の 14 日間に接触していないこと。

④過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触していないこと。

(2) 大会期間中に必要な枚数のマスクを持参すること。

(競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する)

(3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

(4) 競技中以外は参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m、最低1m)を確保すること。

(5) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(6) 移動についての注意事項。

○公共交通機関での移動を避けられるチームは、可能の場合は個人による移動を検討する。

○できるだけ車の相乗りは避けるようにする。

○公共交通機関で移動する場合、各個々人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。

○チャーターバスを利用する場合は、運行会社と協力し、事前・事後に徹底的にバスを清掃・消毒するように手配し、余裕を持った座席数の確保や換気の徹底等の予防策を講じること。

(1時間に3回の換気、できれば全開でなくても常時開窓が推奨される)

(7) チーム代表者は必ず選手及び保護者から大会参加の同意書を取ること。

同意書は各チームで保管すること。

(8) 大会参加を強要しないよう配慮すること。

(9) 代表者は参加者全員の連絡先を保有していること。

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

【大会期間中の留意事項】

- (1) 毎日、チーム代表者は参加者全員の「チーム健康チェックシート」を代表者が大会事務局に提出すること。
提出がない場合は、会場への入場、大会参加は認められない。
体調不良並びに37.5度以上の選手については宿舎で待機させ、大会事務局に連絡する。
- (2) 試合時にベンチに入れる人数は登録された48名(最大)中の40名までとし、それ以外のメンバーは指定された場所に位置すること。
- (3) 施設内では必ず AD カードを着用すること。
- (4) 常にフィジカルディスタンス(できるだけ2m、最低1m)を保つこと。
- (5) 会場内は競技中以外は必ずマスクを着用し、大きな声での会話や応援等をしない。
- (6) ベンチで待機するリザーブ選手・チームスタッフ及びピッチサイドで待機するチームメディカルスタッフはフィジカルディスタンスを確保し、マスクを着用する。但し、ウォームアップ時や交替直後の選手など、健康状態の維持に支障が出る場合を除く。
- (7) 会場内にアルコール消毒液を設置するのでこまめな手指消毒を心掛ける。
- (8) 試合会場、ウォームアップ会場の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避けること。
ウォームアップ会場は試合開始1時間前から使用できる。
- (9) 使用したチームベンチ、テント、更衣場所は、使用したチームが消毒した後、速やかに退出すること。
- (10) ウォーターボトル・タオル・ヘッドキャップ等の個人の備品は必ず区別し、栄養補給サプリメント等も含め共用・使いまわしをしない。タオルやアイシング用の氷も共用はしない。
- (11) フィジカルディスタンスを確保できない円陣等は避ける。握手・ハイタッチ・抱き合う等の行為は禁止とする。
- (12) 更衣場所は、密にならない様に入れ替わりながら使用する。更衣場所でのミーティングを禁止する。
- (13) 給水係が着用するビブスは大会側が用意し、大会期間を通してチームが管理・洗濯する。(終了後返却)
- (14) 飛沫感染を防止するため、メディカルスタッフ、及び給水係は防水性がある手袋を着用する。
- (15) ピッチ上に唾や痰をはくことは行わない。
- (16) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

【グローバルアリーナでの生活】 ※男子チーム

- (1) グローバルアリーナの感染拡大防止対策(別紙参照)に従い、生活すること。
- (2) 選手の宿舎は2チームで1つの宿舎を共有するが、他チームと接触しないよう各階フロアを専有とする。
- (3) 外部の人の宿舎への立ち入りを禁止する。
- (4) 食事の時間はチームごとに設定される。食事の際はなるべく話をせず行なうこと。
- (5) 入浴の時間はチームごとに設定される。

【外部ホテルでの生活】 ※女子チーム

- (1) 当該ホテルの感染拡大防止対策に従い、生活すること。
- (2) 宿舎での生活で、外食や外部の人の宿舎への立ち入りを禁止する。
チーム同士の交流もできるだけ避け、同じ宿舎に一般の人が宿泊している場合は、食事をする場所や時間をずらすなど接触しないように工夫し、特にエレベーターボタン、buffetなどの前後の手指消毒の励行を徹底すること。

大会準備に関する対応

【試合会場における感染防止対策の基本方針】

- (1) 有観客で行う場合、参加者と一般来場者の入退場口・動線・観戦エリアを分ける。
- (2) 参加者・大会関係者入退場口設置
入場の際に検温を行い、大会事務局に健康チェックシートと提出する。
- (3) 一般観戦来場者・メディア関係者入退場口設置
入場の際に検温と健康チェックを行う。メディア関係者は大会本部に指定の健康チェックシートを提出する。
- (4) 会場の消毒
試合開催日に使用する諸室やスペース、複数の利用者が触れると考えられる高頻度接触部位（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）は、使用前に清掃、消毒を実施する。
消毒は 0.05%次亜塩素酸ナトリウムあるいは 70%以上のアルコールを用いて行う。
- (5) 簡易消毒
各関係者入場口、トイレ、選手更衣室、レフリールーム、各受付や諸室に手指消毒液を設置し、感染リスクを下げるための対策を行う。
- (6) 競技エリアのレイアウト
選手ベンチ等、サイドラインの待機スペースにおいて、可能な限りソーシャルディスタンスを確保できるよう、物理的に可能な限りレイアウトを工夫する。
- (7) 飛沫感染防止策
入退場口、観客対応が必要なインフォメーションセンターやプログラム販売所など、多くの来場者と対面する場所においては、飛沫感染防止パネル（アクリル板など）を設置する。
- (8) スタッフケータリング
運営スタッフの食事を手配する場合は、個別の弁当等を手配することとし、スナック類も含めて複数名での共有は避ける。食事の前には必ず手洗いをを行い、廃棄物処理は適切に行う。
- (9) 手洗い場及びトイレは、手を拭く為のペーパータオルを用意するか、もしくは個人のタオルを持参させる。
- (10) 手洗いを 30 秒以上行うよう掲示、もしくは周知する。
- (11) 石鹸（ハンドソープ）を用意する。

【大会運営】

- (1) 開会式：実施しない（表彰式は実施）
- (2) 有観客で開催を準備する。新型コロナウイルスの拡大状況によっては無観客試合とする場合もある。

【試合の実施】

- (1) 健康チェックシートを大会事務局へ提出し、問題がないことを相互確認する。

【諸室の感染対策】

- (1) 室内ではフィジカルディスタンス（できるだけ 2m、最低 1m）を確保し、必ずマスクを着用するよう周知する。
- (2) 諸室レイアウト
各諸室においてフィジカルディスタンスを保つことができるよう、内部レイアウトや追加のスペース割り当てについて検討し、特にチームやレフリーのスペースについては優先的に配慮し、セキュリティーやゾーニングの観点を加味しながら追加の部屋についても可能な限り対応する。

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

(3) 各諸室の換気対策

金銭管理や更衣など特段のセキュリティー対策が必要でない限りは、各諸室の窓を開け、ドアストッパーを使用しドアを開放する。

(4) 試合のための更衣は選手宿舎で行う。出来る限りフィジカルディスタンスを保ち、密を避けること。更衣場所が密閉状態にならないために、ドア等は開放した状態を保ち、換気に注意しながら交代で使用する。

(5) 施設内では必ずマスクを着用し、会食、マスクを外しての会話、ミーティング、マッサージ等を禁止する。退室時は必ず、設置されたアルコール消毒剤でロッカー、テント内と手指消毒を行うこと。

【試合の安全対策】

(1) 選手入場は両チーム別々に入場する。キックオフ前の校歌斉唱等のセレモニーは行わない。

(2) フィジカルディスタンスを確保しない円陣等は避ける。

(3) ベンチで待機するリザーブ選手・チームスタッフ及びピッチサイドで待機するチームメディカルスタッフはフィジカルディスタンスを確保し、マスクを着用する。但し、ウォームアップ時や交替直後の選手など、健康状態の維持に支障が出る場合を除く。

(4) タオルやドリンクボトル、アイシング用の氷の共用はしない。

(5) 飛沫感染を防止するため、メディカルスタッフ、及び給水係は防水性がある手袋を着用する。

(6) ピッチ上に唾や痰をはくことは極力行わない。

(7) 試合球は試合ごとに必ず70%以上のアルコールを用いて消毒を行う。

大会運営スタッフの対応

【競技役員・競技補助員に求められる対応】

(1) 試合会場に向けた出発前～試合会場到着

- ・各自健康状態を確認し、健康チェックカードを作成する。
- ・移動時はマスクを着用する。
- ・同乗車両で移動する際は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。
- ・公共交通機関で移動する場合は、各個人が政府の推奨する感染予防策を徹底する。
- ・更衣室の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。

(2) 試合会場到着後～試合開始

- ・作成した健康観察カードを大会関係者入退場口へ提出し、問題がないことを相互確認する。
- ・受付でADカードを受け取り、施設内では必ず着用すること。
- ・施設内ではフィジカルディスタンス(2m、最低1m)を物理的に可能な限り確保できるよう意識をする。
- ・施設内では必ずマスクを着用する。
- ・食事の際は必要以上の会話をせず、残飯等の廃棄物は運営管理者の指示の下、適切に処理すること。
- ・試合球が消毒されていることを確認する。消毒がされていない場合には、試合で使用される前に、全球を消毒する。
- ・試合開始時の密集を避けるため、チーム入場前にピッチサイドでスタンバイする。

(3) 試合中

- ・引き続きマスクを着用する。
- ・選手、チームスタッフ、運営スタッフとのフィジカルディスタンスを保つため、競技進行に支障をきたさない範囲であれば、ボールの手渡しは避けてもよい。
- ・試合球を拭くためのタオルは選手へ渡さない。
- ・レフリーの給水をサポートする場合は、給水ボトル等を該当者以外に渡すことを避け、給水口に直接触れないようにする。手袋は必ず着用する。
- ・自身のタオル、ドリンクボトルを他者と共有しない。
- ・ハーフタイムに試合球を再度消毒し、タオルを交換する。
- ・ハーフタイムに自身の手指を洗う、もしくは消毒する。

(4) 試合終了後

- ・試合球を消毒し、競技役員へ返却する。
- ・使用したタオルは確実に袋に入れ、口を縛って競技役員へ返却する。
- ・自身の手指を洗う、もしくは消毒する。

【試合当日、すべての人に求められる対応】

(1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる(イベント当日に確認を行う。)

- ・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛・味覚や嗅覚異常などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・マスクを持参し着用する。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。握手、抱擁などは行わない。
- ・競技関係者、スタッフ等とのフィジカルディスタンス(できるだけ2m、最低1m)を確保する。
- ・無線機の共有はしない。やむを得ず共有する場合は十分な消毒確認をする。
- ・大きな声で会話、応援等を極力しないこと。
- ・開催会場及び主催者、管理者が定めた措置を順守し、従うこと。
- ・試合開催終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等とともに報告すること。

【運営/協力スタッフに求められる対応】

(1)開催日前準備

- ・全スタッフの特定の為、個人の氏名、連絡先を保持し、緊急時に主催者と共有ができる連絡先を把握する。両者間の個人情報共有は、新型コロナウイルス感染対策において必要な場合に限られるが、情報集約時に各個人の承諾を得ておくこと。
- ・来場者のリストを提出し、試合当日に会場に訪れるスタッフを共有する。

(2)試合会場に向けた出発前～試合会場到着

- ・全スタッフの健康状態を確認し、問題ないことを確認する。
- ・健康チェックカードを作成する(大会事務局作成のものを使用する)。
- ・移動時はマスクを着用する。
- ・同乗車両で移動する際は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。
- ・公共交通機関で移動する場合は、各個人が政府の推奨する感染予防策を徹底する
- ・各執務室の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。

(3)試合会場到着後～試合終了

- ・職務を開始する前に全スタッフの健康状態に問題がないことを確認する。
- ・健康チェックカードを受付へ提出し、問題がないことを確認する。
- ・執務室内でもソーシャルディスタンス(2m、最低 1m)を物理的に可能な限り確保できるよう意識をする。
- ・試合会場では必ずマスクを着用する。
- ・使用する備品や機材が消毒されていることを確認する。消毒がされていない場合には、使用する前に消毒する。
- ・業務を行うエリア外には立ち入らない。
- ・ピッチレベルでの業務を行う場合、試合開始時の密集を避けるため、チーム入場前にピッチサイドでスタンバイする。試合中も選手や競技スタッフとは極力距離をあける。

(4)試合終了後

- ・使用した備品や機材を返却する際は、返却前に消毒し、管理者へ返却する。
- ・帰宅する際も、出発時と同様の感染防止対策を実施する。

【その他】

- (1) 役員については全員の連絡先を管理し、大会時及び大会 2 週間前の毎朝の検温と体調チェックを行う。
- (2) 役員、ドクター、SA、補助役員については必ずマスク着用を義務付ける。
- (3) 体調不良者が出た際のマニュアルの作成・搬送先の確認(役員・選手)医務委員会と協議。
- (4) 大会期間中の昼食については、チーム関係者ならびに大会役員は、密にならないよう会場の指定された場所とする。

■ メディカルスタッフの服装、装備について

試合に立ち会うドクター、担架要員、メディカルスタッフ、給水係りは濃厚接触者となることを避けるため、マスク、防水性手袋、ゴーグル(又はフェイスシールド)の着用装着を義務づけるものといたします。また、担架使用で体位変換を行う場合や医務室での治療時はガウンの着用を推奨いたします。

メディア対応

原則として試合当日に試合会場での取材活動を受け入れる方針とし、但し感染防止対策としての以下の条件に承諾し、大会事務局へ事前に取材申請を提出、受理されることが条件となる。試合会場のメディア用のスペースの都合により、メディア来場者全体の人数制限を設ける場合もある。

また、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、まん延防止等重点措置が実施されている地域、および自治体で独自の緊急事態宣言などの措置を実施している地域からの来場はできる限りお控え願います。

【試合当日のメディア対応】

(1) 取材メディア受け入れ条件

- ・人数に制限を掛ける必要がある場合には、各会場における特性を鑑み、会場ごとに各媒体当たりの人数制限を掛ける。(各媒体ライター1名、フォトグラファー1名、ENG1クルー4名まで)
- ・以下の場合には来場を見合わせる
 - (ア)体調がよくない場合
(例: 発熱・咳・咽頭痛・味覚や嗅覚異常などの症状がある場合)
 - (イ)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (ウ)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・マスクを持参し着用する。
- ・健康観察カードを試合当日に作成し、来場時に報道受付に提出する。
- ・開催会場及び主催者が定めた措置を順守し、従う。
- ・受付後は必ず、ADカードを着用する。

【選手への取材方法】

- (1) 取材対応はメディア関係者との接触、または感染リスクがない手段にて実施する。
- 必ず指定の場所で行い、飛沫感染を防ぐ対策を行った部屋を準備し、間隔を空けて行う。
- 移動中等の囲み取材は厳禁とする。
- 試合前。試合中の選手、顧問への取材は認めない。
- 試合後は取材エリアのみで取材を行う。
- スチールカメラはインゴール裏のみ認める。

観戦来場者対応

有観客での開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては無観客とする場合もあります。状況に応じ、自治体の方針に沿った対応といたします旨ご了承ください。

また、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、まん延防止等重点措置が実施されている地域、および自治体で独自の緊急事態宣言などの措置を実施している地域からの来場はできる限り控え願います。

※新型コロナウイルス感染症対策により、入場者数に関しては同時入場者数の上限を2,000名とし、ご来場のお客様にはお客様情報の提供にご協力いただきます。

【動線・観戦エリア】

(1) 参加選手、大会関係者の動線と観戦来場者の動線・観戦エリアは分けし、接触することを禁止する。

(別紙 大会会場図 参照)

チーム関係者であっても事前に登録していない者は、参加者のエリアに入ることはできない。

宿泊エリアでは完全なエリア分けはできないため、互いに極力接触は避けること。

【観戦来場者に求められる対応】

(1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に来場を見合わせること。

① 新型コロナウイルス感染症に関係するいかなる症状も直前の14日以内に見られないこと。

ア 37度5分を超える発熱

イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる・疲れやすい等

② 生活を共にする家族等にも新型コロナウイルス感染症に関するいかなる症状も直前の14日以内に見られないこと。

③ 新型コロナウイルス感染者や感染が疑われる人に直前の14日間に接触していないこと。

④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触していないこと。

(2) 会場で感染防止のために遵守すること

- ・入場ゲートで体温を測定し、37.5度以上の場合は入場できません
- ・健康チェックアンケートを提出すること
- ・会場ではマスクを着用すること
- ・会場内では常にフィジカルディスタンス(できるだけ2m、最低1m)の距離を確保すること
- ・大声での発声、歌唱や声援、密集等の感染リスクのある行動を回避すること
- ・こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- ・選手、チームスタッフ、運営スタッフ等との接触せず距離を確保すること
- ・開催会場及び主催者、管理者が定めた措置を順守し、従うこと。

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

感染ならびにその疑いがある場合の対応

【選手またはチーム関係者の感染が判明した場合】

(1)大会前

①選手または指導者などチーム関係者の感染が判明した場合には、当該者また濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。

※但し、濃厚接触者と特定され、積極的疫学調査によってPCR検査陰性の場合も、2週間の経過観察を経たのち、医師の判断を仰ぎ、所属校長・事務局の許可を得ることができれば参加を認める。

②参加申し込み後における選手変更は1月1日の代表者会議まで認める。

※新型コロナウイルスの感染者が出た場合、「濃厚接触者」を決めるのは「所轄の保健所」であり、遅滞なく、正しい情報を提供すること。

(2)大会期間中

①体調不良や発熱等の症状がみられる場合、試合出場を認めない。

②当日、急に症状が出た場合は、他の選手から隔離し健康観察を徹底する。必要であれば医療機関での受診をする。指導者から保護者にも連絡する。

③他の選手への健康観察を徹底する。

④医師の指示によりPCR検査を受けた場合、当該校の試合は辞退とし不戦敗とする。

PCR検査の診断結果が陰性の場合、当該者を除く選手は試合を行うことができる。

PCR検査の診断結果が陽性の場合、大会は中止としその後の対応は保険所の指示に従うものとする。

(3)大会後

①大会後に新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は行政機関の指示に従うこと。その結果については各校責任者から大会事務局に報告すること。

②感染者が発生した場合、各校責任者は、感染者を特定しようとすることやSNSで誤った情報を発信することのないように生徒に適切に指導すること。

※(1)～(3)の全ての場合において必ず大会事務局に報告し連携を取ること。最終的には、大会事務局の指示に従うこと。また不明な点についても事務局に問い合わせること。

大会中止の検討基準

12月27日(月)以降、下記の1項目でも当てはまる事態が生じた場合、主催者で検討し開催(継続)可否の決定を行う。

①緊急事態宣言が発令された場合

- ・不要不急の外出自粛が全国的に要請された場合
- ・都道府県をまたぐ移動の自粛が全国的に要請された場合
- ・全国的に店舗営業において自粛が要請された場合
- ・全国的に学校において部活動が認められない場合

②開催地である福岡県においてイベントの開催が認められない場合

③開催地である福岡県において、新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整わない場合。

また、緊急時の地域医療機関の受け入れ態勢が整わない場合

④新型コロナウイルス感染に関連して不測の事態が生じた場合

⑤その他、大会運営上に支障をきたす場合。

【別紙資料】 **※後日提出**

①健康チェックカード(大会前14日間 個人用) ※個人で使用し保管、チーム代表者が確認

②チーム健康チェックシート ※期間中、毎日提出

③大会関係者 健康チェックシート ※来場時提出

④観戦来場者 健康チェックシート ※来場時提出

⑤新型コロナウイルス感染症の症状チェックシート(報道関係者用) ※来場時提出

⑥体調不良者が発生した場合のフローチャート

⑦コロナ対応代表者連絡先調査表

⑧会場図 動線・エリア区分け